

困った人にやさしい県政を

私は、市議会議員として6期24年間、市内ホームレスの救済に奔走し、サラ金被害者の相談にも多数解決するなど市民の切実な願いに耳を傾けるとともに、みなさんとごいっしょに中学校給食や中学3年生までの子どもの医療費無料化などに粘り強く取り組み、実現することができました。しかし、中学校までの35人学級やコロナ検査などの保健所体制の強化など市政では実現できないことも多く、市政と県政の橋渡し役を務めながら、県政を変えなければならないと決意しています。

ご支援をよろしくお願いいたします。

6期24年

市議会議員として毎回の議会で提案

▶中学校給食、中3までの医療費無料化実現

保育所の増設を行い安心して働ける環境を

▶毎年4月1日では待機児童ゼロに

自転車道の設置で安全対策を

▶自転車道の設置が進んでいます

女性の地位向上のために

▶男女共同参画条例の制定を求める

子どもの貧困・虐待をなくすために

▶子ども権利条例の制定を求める

日本共産党 県政対策委員長・市議会議員

ひさ村真知子

県政担当

【プロフィール】1951年9月伊丹市西野生まれ／桜台小学校、西中学校、市立伊丹高校、阪神美容学校通信科卒。雪印乳業関西チーズ工業、レイラ(ふじ)化粧品勤務。新日本婦人の会伊丹支部事務局長・宝塚医療生協伊丹支部長など歴任。1999年から現在まで6期24年間市議会議員。文教福祉常任委員会副委員長、農業委員会委員など歴任。現在、文教福祉常任委員、飛行場問題特別委員、クリーンランド議会議員、原水爆禁止伊丹協議会副理事長。西野在住。2男。

くらしさえ、若者に希望を

上原、ひさ村両市議会議員の地域を引き継いで市民のくらしを守るために仕事をします、よしお周二です。

自公政権が敵基地攻撃能力保有、5年間で43兆円もの大軍拡、そのための大増税をすすめる中、医療、福祉が削られ、市民の生活を直撃し、苦しんでいる人がますます苦しむ社会に向かっています。

非正規雇用が増え、給料が上がらず若い人たちは社会に希望が持たなくなってきています。

行政の力で市民のみなさんや若い方たちにサポートできることもと思い決意しました。市民のみなさんの声を市政に届け、くらしをささえ、若者が自分らしく希望の持てる社会をつくるために力を尽くします。

上原ひでき市議会議員から



8期32年間議員を務めてきましたが、今期で引退することになりました。ご支援いただきましたことに心からお礼を申し上げます。

よしお周二さんは、私と一緒に伊丹平和委員会でも活動し、「自衛官を戦争に追いやってはならない」と平和運動をつづけ、地域の要望があればすぐに駆け付け、その実現に向けて行動をする人です。必ずみなさんの役に立ちます。

ぜひみなさんのご支援をお願いします。

日本共産党 党市くらし・若者対策委員長

よしお周二

市政担当

【プロフィール】1956年2月生まれ 伊丹育ち／稲野小学校、市立西中学校、1974年兵庫県立武庫工業高等学校電気科卒。関西電力グループ会社勤務、2019年3月退職、2022年12月までパート勤務。現在、日本共産党阪神北地区委員、伊丹市日本共産党後援会事務局長、伊丹平和委員会事務局次長。千僧在住。趣味、里山歩き。(家族)妻、1男3女。



力を合わせ、市民の願い実現にがんばります



市民の暮らし、検査・医療の充実

- 保健師、医師など専門職の増員で、PCR検査体制の拡充を
- 必要な人が入院・医療が受けられる医療体制充実を
- 介護・福祉・保育などケア労働の賃金引き上げ
- 事業者に対して家賃支援や固定資産税減免を



子育て支援・教育の充実

- 子どもの医療費は所得制限なしで18歳まで無料に
- 学校給食は無償に
- 小中学校でただちに35人学級実現を
- 年度途中の待機児童の解消、保育料の軽減を



介護・健康・福祉施策の充実

- 国保税・介護保険料の軽減を
- 補聴器購入に補助制度を
- 障がい者への医療助成制度の拡充を



災害・気候変動、人権施策の充実

- 伊丹市としてカーボンゼロ宣言を行い、目標達成に向けた具体的な施策を
- 避難所となる学校体育館等に空調施設の設置を
- 夫婦別姓制の促進



日本共産党

よしお周二さんはこんな人

松ヶ丘



“縁の下の力持ち”から、市民の暮らしを支える人へ

地域を盛り上げるため、市民の皆さんと上原市議とで、新春のもちつきをおこなってきました。続けること十数年。今では地域の皆さんが楽しみにしてもらえる行事となりました。これまでは“縁の下の力持ち”的な存在でありましたが、久村市議の県議会挑戦、上原市議の引退を受け、その仕事を引き継いで市民のみなさんの暮らしを支えることを決意しました。



要望を聞き、実現に向けて行動



ダイヤモンドシティへの通路であるこの場所は、車が通ると歩行者は通れない状態で大変危険でした。歩行者専用道の設置を求め、地域のみなさんと署名を集めて市へ提出。ひさ村市議が議会で取り上げたこともあり、要望が実現しました。

◀「憲法改悪を許さない署名」に協力してもらいながら要求を聞くよしお周二

駄六川橋

日本共産党への入党は「平和」が原点

日本共産党への入党のきっかけは、平和を守る運動への参加でした。昨年、岸田政権が長距離巡航ミサイル(トマホーク)500発購入の方針を決めました。当時、アメリカが初代トマホークを開発し日本の基地に配備するニュースが伝わったことで、日本国内から外国を攻撃することがあってはならないと怒りを感じ、平和のために一番頑張っているのが日本共産党と知り入党しました。

以来、サラリーマンをしながら休みの日には、平和を求める運動と共産党員として市民の暮らしを守る活動を続けてきました。

党市暮らし・若者対策委員長

よしお周二

「困った」をほっとかない!

市営住宅の建て替えとエレベーターの設置

やっと玉田団地にエレベーターが設置されます。引き続き公営住宅の修繕等住みよい住環境実現に向けてがんばります。



エレベーター設置工事中の玉田団地



西野に安全な通学路を

西野4丁目の関西電力変電所に沿った池尻小学校への通学路は、子どもたちにとって危険で雨水がたまる道路でした。その改善のため、関西電力に直接交渉し、その後伊丹市に対しても改善要望を行い、安全な道路を実現することができました。



住民の話を聞くひさ村議員

天神川・浚渫工事行われる

「天神川では大雨の時、川底に土砂がたまっており氾濫しないか心配だ」の声が寄せられ、県土木課と交渉。県は「要望のあったところから頑張ります」と言われ、さっそく調査の後工事も行われました。

JRの危険な踏み切りの改善

伊丹JR南踏み切り内は歩道と車道の分離のため大きく陥没する形になっており、高齢の男性が自転車で転倒し入院される事態がありました。車椅子や自転車が大きな事故につながる危険があります。早急に改善を求め、やっと改修することができました。



元市議会議員 大西 泰子

ひさ村真知子さんを今度は県会に

6期24年間、市民に寄り添いながら問題解決のために頑張ってきたひさ村さん。市議会では常に弱い人の立場に立って生活保護や女性問題等で市政を質し、持ち前の粘り強さで中学校給食や子どもの医療費無料化などを市民とともに実現してこられました。今回県会に挑戦されますが、ひさ村さんこそ経験、実績ともにふさわしい人です。

県政対策委員長・市議会議員

ひさ村真知子